

3 日常生活で、目指せ脱炭素！

2013年度に市で排出されたCO2のうち、約17%は家庭から出ています。よりよい未来のためには、市民の皆さん一人一人の行動が欠かせません。行動の例をいくつか紹介します。小さなこと一つから始めていきましょう！

■ 1人当たりのCO2排出量

年間で約2,267kg-CO2とされています。内訳は以下の通りです。



①暖房	13.3%
②冷房	2.6%
③給湯	13.4%
④厨房	4.9%
⑤動力他*1	37.7%
⑥自家用自動車	22.8%
⑦一般廃棄物*2	3.4%
⑧水道	1.9%

※1 照明、冷蔵庫など

※2 可燃、不燃、プラごみなど

※計算の過程で端数を処理しています。

国立環境研究所「日本の温室効果ガス排出量データ」

エコドライブ で脱炭素！

エコドライブとは、安全で環境に優しい運転のことです。以下の10のすすめを参考に、日ごろの運転を見直してみましょう。

燃費が改善されることで、CO2排出量の削減につながります。ガソリン1リットル当たりの排出量は、約2.32kg-CO2です。

Topics

エコドライブ10のすすめ

出典：環境省

- ①自分の燃費を把握しよう
- ②ふんわりアクセル「eスタート」
- ③車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転
- ④減速時は早めにアクセルを離そう
- ⑤エアコンの使用は適切に
- ⑥ムダなアイドリングはやめよう
- ⑦渋滞を避け、余裕をもって出発しよう
- ⑧タイヤの空気圧から始める点検・整備
- ⑨不要な荷物はおろそう
- ⑩走行の妨げとなる駐車はやめよう



生ごみ処理機 で脱炭素！

一般廃棄物処理でのCO2排出量は、1人当たり年間約76.4kg-CO2とされています。生ごみは、1人当たりが排出する可燃ごみの約15%を占めます。生ごみ処理機などで堆肥化することで可燃ごみを減らせます。

※市は、購入費用の一部を補助しています。詳細はお問い合わせください。

緑のカーテン で脱炭素！

緑のカーテンは、ツルレイシ（ゴーヤー）などの植物を育てることで設置できる、自然のカーテンです。夏の日差しを遮ってくれるため、夏場のクーラーの使用時間を減らすこともできます。設定温度28度で、1日1時間クーラーを止めると、年間で約7.8kg-CO2の削減になります。

Topics

生ごみを減らして、ごみ全体の量も削減

ほんまなおみ 本間直美さん



市の補助金を使って生ごみ処理機を購入しました。生ごみを入れた後、スイッチを入れると乾燥され堆肥になります。庭で枝豆などを栽培し、肥料としても使用しています。生ごみが減るためごみ全体の量も減りました。軽いと捨てるのも楽ですね。ほかに、庭の草取りをした際に乾かしてから捨てるなど、意識と行動も変わりました。

Topics

緑の間を抜ける、涼しく気持ちいい風

まつうらつとむ 松浦勉さん



クーラー無しでも部屋が涼しく、目にも優しく快適です。緑の間を抜けてくる風はさわやかで、体感的には5度くらい違います。最初は私も失敗しましたが、ガイド本で勉強したり、家族と講習会にも参加することで上手くできるようになりました。採れたゴーヤーを料理しておいしく食べるのも楽しみの一つです。

4 気候非常事態宣言から1年

「取手市気候非常事態宣言」の表明後、市は市民の皆さんと一体になって問題の解決にあたるため、啓発活動や制度整備を続けてきました。ここでは主なものを紹介します。



市が作成した、啓発動画も公開中！

さまざまな方に向けた講座・講演会



楽しく環境問題を学ぶ、子ども向けの「夏休み環境教室」を開催しています。また、専門的な観点から学べる「地球温暖化防止講演会」を通し、さまざまな方に情報を発信しています。

市オリジナルエコバッグ配布



4R運動の推進とマイバッグ利用を呼び掛けるため、市民との協働で市オリジナルのエコバッグを作成しました。緑のカーテン講習会など、環境イベントなどを通じて配布します。

太陽光発電・蓄電システム 助成



住宅用に太陽光発電や蓄電システムを新しく設置する方に、費用の一部を助成しています。詳細はお問い合わせください。（今年度の太陽光発電システムの助成は終了しました）

大野産業（株）提供

小さなことを積み重ね、より良い未来のために行動しましょう！